

## 公明会

(諸星 孝子 議員)

**問** SDGsの視点を市政運営に取り入れることについて具体的な目標はあるか。

**部長** 第5次富士宮市総合計画前期基本計画の分野別の基本目標と政策と同調しているものも多くあり、既に多くの部署で事業に取り組んでいる。SDGsに関する情報収集や基本理念の理解から研究を始めているが、各課協力のもと、現体制で実施していきたい。

**問** 富士山世界遺産センターと富士山本宮浅間大社周辺に訪れた方の声と流れを伺う。

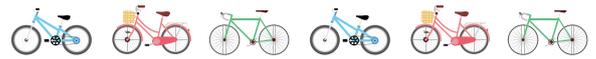
**部長** 中心商店街への流れは、食事や買い物等で訪れるお客さんは増えている一方、全体から見るとまだ十分といえないとの声もある。

そのため、市民と協働で回遊参道まち歩き連絡会を立ち上げ、観光客の動向調査やおやつ食べ歩きマップ、ランチマップを作成し、職員が直接、観光客に手渡すなどの取り組みをしている。JR富

士宮駅からの観光客の誘導方策として、平成29年、30年において、商店街を通るルートを中心に、駅、浅間大社、富士山世界遺産センター、神田川観光駐車場を案内する歩行者用の路面案内サインを合計45カ所整備した。

**問** 自転車を活用した魅力の取り組みは何か。

**部長** 28年に策定した、「サイクリング×キャンプツアー」の具体策として実施するもの。実施内容は、民間企業と連携し、レンタル自転車として用意される、Eバイクといわれる高性能電動アシスト自転車を使い、市街地からスタートして朝霧高原をめぐる自転車のツアーを、本市の新たな魅力として実証的に実施していきたいと考えている。本市の地形は勾配が多く、一般の人が自転車で長い距離を移動することは困難ですが、Eバイクであれば、気軽に市内をめぐる自転車ツアーが楽しめると考えている。



## 改正会

(深澤 竜介 議員)

**問** 平成31年度は富士宮市の「SDGs元年」であるが、持続可能なためには、空き家の増加、コンパクトシティ化が避けて通ることはできないと考えるが、市域の広い富士宮市の場合、どうやって、持続可能とするのか。

**部長** 駅周辺に主要な施設が立地し、まちなかは、おおむね達成できていると考える。市街化調整区域の集落拠点では既存制度を活用し、拠点機能の強化を図りつつ、ゆとりある住環境を創出することで、持続可能なまちづくりを進めていきたい。

**問** 今後、富士宮市の観光施策の方向性は、どういう方面なのか。海外志向なのか、国内なのか、通過型か、滞在型か。

**部長** 滞在型を強化していく必要があると考えている。

**問** 28年度の施政方針で示された、日本一の

バーベキューのまちは、その後どうなったのか。

**部長** 市のHPでは、市内でバーベキューができる施設の案内も掲載しており、今後もイベントや情報発信を通じ日本一のバーベキューのまちに取り組んでいく。

**問** 富士山富士宮口の五合目レストハウス本体の改築等の方向性はあるのか。

**部長** 現時点では明確な改築等の方向性はない。30年から静岡県が中心となって、富士山富士宮口五合目来訪者施設検討会を開催し、検討を始めたところである。

**問** 富士山世界遺産のまちづくりのハード整備については特命担当を配置するとあるが、ソフト面は、どうするのか。

**部長** 関係部署が連携し、現体制の中で行っていく。また、まち歩きマップの活用、観光ボランティアガイドの会とも連携し、周知宣伝活動に取り組んでいく。